

コールペイント CP2050

「コールペイント CP2050」は米国のアテムコ社が開発した耐熱コーティング剤です。工業用や自動車用の金属部品や金属構造物などの腐食防止に使用されています。耐熱上限は204℃です。

特性

「コールペイント CP2050」はエポキシ樹脂を主成分とした2液混合タイプの赤茶色のエポキシ系コーティング剤です。主に飛行機、自動車、化学処理工場や発電所などで使用される金属部品や金属構造物の腐食防止のために塗布されます。

「コールペイント CP2050」は金属表面に優れた密着性があり、その為、腐食防止効果も抜群です。化学薬剤に対し幅広い耐性があり、次のものに効果があります。

【ジェット燃料、ディーゼル燃料、ガソリン、酢酸、塩酸、硝酸、リン酸、塩化カリウム、塩化ナトリウム、アルコール、トルエン、キシレンなど】

また、熱ショックに強く、塩水噴霧、紫外線などにも耐性があります。

「コールペイント CP2050」は3タイプあり、CP2050-LFは皮膜強化型、CP2050-FFはLFの平滑性向上型、CP2050-NFは耐酸強化型です。

使い方

「コールペイント CP2050」は主剤と硬化剤を重量比1:1の割合で十分混合します。混合の粘性は割と高めのペースト状ですので、コテまたはヘラ、スポンジハケ等で塗布します。ポットライフは約40分ですので必要量のみ混合し手早く施工してください。塗布後は常温で48時間放置して硬化させるか、または、79℃で4時間焼成します。

1回のコーティング膜厚は1.3mmを標準としています。尚、下地処理にサンドブラストやコールプレップCPR 2000を使用するとより強い密着性を得ることができます。

荷姿

1パイント（約500ml）と1クオート（約1リットル）の広口缶入り。（いずれも主剤と硬化剤を合わせた総量です。）

1パイントで0.3~0.4m²使用可能。



鋳造部品への適用